

3つの再生で、地域経済をたて直します

雇用 水産農業 石炭 松永としお 日本共産党

雇用

- 労働者派遣法を抜本改正します。
- 公的就労事業をおこし、冬場の季節労働者向けの冬期就労事業を拡充します。
- 全高校に就職相談員を配置し、運転免許取得に補助するなど、高卒就職者の支援を強めます。



水産農業

- 魚価・乳価を引き上げ、生産費に見合う価格保障制度を実現します。
- シシャモ、コンブなどを生かした水産加工に力を入れ、道立水試や市水産加工振興センターとの連携を強め、全道一の水産加工基地をめざします。
- 燃油や飼料、漁業・農業機械などの価格の適正化対策をすすめます。
- 農業・漁業後継者対策をすすめ、新規就農・就漁者に補助金、後継青年には奨励金を出します。酪農ヘルパー利用料の助成制度をつくり、後継者対策につなげます。



石炭

- 釧路の商業採炭を継続できるよう研修事業の継続をはじめ、新たな石炭対策を国に求めます。
- 世界一といわれる釧路の石炭技術をひろげ、研修受入国の拡大などに力を入れます。
- クリーンコールテクノロジーの取り組みをひろげ地元での石炭活用、見直しをすすめます。



市議の時から

水産加工振興センター機能と体制を強化

釧路で一番就業人口が多いのは水産加工業、その拠点となっている水産加工振興センターの機能と体制の拡充に取り組み、新たな商品開発と販路の拡大のきっかけをつくりました。

シシャモ、トキシラズなど、釧路産品の工夫が始まっています。



まちなかへの公営住宅の建設を推進

「北大通の再生には中心街の定住人口を増やすこと」と提案、寿町の道営住宅を実現しました。その後、旭町の借り上げ公住、さらに川北町と北大通周辺に道住計画と、大きく前進しました。

炭鉱存続に一貫して力をつくしてきました

研修事業の継続や研修国の拡大で、炭鉱の火を守ってきました。閉山で差別された下請け労働者の炭住追い出し攻撃には、身体を張って一緒にたたかいました。炭鉱労働者の集団労災申請に取り組むなど、新しいきずなを広げています。



国領土問題

全千島^{歯舞}_{色丹}の返還を求める

樺太千島交換条約（1875年）で北千島を含めた全千島が最終的に日本領とされました。旧ソ連は、「領土不拡大」の原則を踏みにじて、千島と北海道の一部の歯舞・色丹を占領。歯舞・色丹は、千島ではありませんから、直ちに返還されるべきです。全千島については、サンフランシスコ条約の千島放棄条項の無効を宣言し、返還を求めます。

尖閣は「歴史的に日本の領土」と中国に堂々と主張

日本共産党は、日清戦争の時代にさかのぼって日本の領有権を証明、尖閣諸島を日本領とする中国の1950年代の地図や人民日報の記事があることもつきとめました。中国が領有権を主張し始めたのは海域で油田が発見された1970年代から。



許せない!! 北朝鮮



権力世襲や拉致やテロ、北朝鮮は社会主義とは無縁。日本共産党は、大韓航空機爆破や今回の砲撃事件でも厳しく抗議してきました。拉致問題も、「対話」も含めた道理ある提案で解決をめざしています。

日本共産党は自主独立の党 世界に発信しています

TPP

食料主権

反対をつらぬきます

関税をいっさい撤廃するTPPに参加すると、外国産の農産物や魚が大量に輸入され、輸入食品の安全検査も非関税障壁だとしてなくされてしまいます。「もっと農産物を輸入せよ」と迫っているのがアメリカです。アメリカにキッパリもの言える日本共産党の出番です。



国際バルク戦略港湾で酪農はどうなるか心配です



国際バルク戦略港どこではありません。肝心の酪農が危機なのです。酪農は牧草を食べて牛が乳を出すもの、輸入トウモロコシに頼って本当に健康な牛が育つでしょうか。西港建設ではこれまで莫大な借金をつくってきました。もっと慎重に考えなくてはなりません。

日本共産党演説会

大門みきし参議院議員がお話します
2月27日・午後1時から
釧路市生涯学習センター

